

【Govt. Model Sr. Sec. School, Aberdeen, Port Blair】

紹介； アンダマン・ニコタマ諸島は地震帯から－5度に位置し、津波やサイクロン、地滑りの危険性と隣り合わせです。自然は私たちが暮らしやすい環境を与えてくれますが、私たち人間がコントロールできるものではないにも関わらず、環境に対して私たち人間の配慮、尊敬はいつもかけています。

その結果、自然の怒りは災害へと変わり、大きな被害をもたらしています。自然が人間にもたらす被害は目に見えてわかるが、人間が自然に与えている影響は目に見えません。

自分達を守るために自然を敬うことを忘れてはなりません。自然災害が頭をよぎるとまずどのような（落ち着いた）生活をすればよいか？が分かります。自然災害が起きた後、すべての被災者がトラウマを抱え、このトラウマを乗り越えることは大変なことです。また、災害を乗り越え、ストレスのない元の生活に戻ることも大変です。教師である Shri Chanchal Dey と学生 of P saravanan,率いるチームは、”Disaster saver “という救命キットのモデルを発明しました。このキットは海に何日も漂流した人の命を救うもので、竹とサトウキビと kevadi と呼ばれる材料を球形にしたものです。とても安く、貧しい人々でも手に入れることができます。

緊急応急セットには、基本的に必要なもの、水が入っています。水が尽きてしまった場合も、ソーラーシステムを使い、海水を飲み水に変えることができます。浮力と張力により強い波や潮の流れにも耐えることができます。回転し、初期の位置を維持します。赤色に塗られており遠くからでも発見しやすいようにしています。蛍光色で「助けて」という意味を持つ SOS も書いています。

このキットには中に入れる扉があり、球体の中で安全に過ごせます。この中には支えになる手すりがあり、内面をスポンジで覆うことでけがから守ってくれます。津波が起きたとしても、避難が必要な人が救われます。

このキットは荒れた水の中でも浮いた状態を保ちます。

キットの中にはレーザーシステムが入れられており、救助隊が見つけ出しやすくなるように信号を発信します。

また、救助を呼ぶ狼煙や、位置がわかるようにコンパスも備えています。もし、キットの中で亡くなってしまったり何か起きてしまっても必ずキットは海岸につき、救助隊は Aadhar カードか身分証明書から身元の確認を行うことができます。

2016 年 1 月 3 日モディ首相が Kishor vaigyanik sammelan 氏の Mysore 大学就任式 の為、来訪され、島にとって歴史的な日になりました。首相のスピーチでは Kishor vaigyanik 氏に対し発明された道具を広めてほしいと言いました。この就任式では 世界各国の科学者やノーベル賞受賞者も招待されていました。彼らはこの救命モデルをみて、驚き、特許の出願とさらなる発展を行うようにおっしゃいました。

彼らは島に栄誉を与えてくださり、救命モデルの進歩にもなりました。この災害救命キットは 2016 年 5 月 29 日に Perivar 研究所の科学者とチェンナイ の技術協会によってテストされました。このモデルは科学者たちの期待通りの結果を示しました。このモデルは現在もアップグレードを進め、次の段階へ進めるため、ニューデリーへ送られました。

このプロジェクトが選ばれば、アメリカへと送られることになります。

ありがとうございます。